

上越市立図書館 読書週間推薦

こどもの本ブックリスト 2017

～中学生・高校生向け～



10月27日～11月9日は
読書週間です

【イラストマークについて】

イラストマークは、本の背表紙にはってあります。本だんで本を選ぶときの参考にしてください。

■中 学 生



■高 校 生



■物語ではない本



中学生



くちびるに歌を

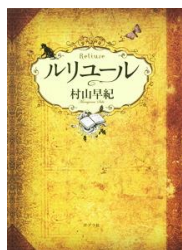
中田永一/著 小学館 2011

全国合唱コンクール出場を目指す、とある島の中学校合唱部。初めて入部した男子部員は、実は美人先生目当てで、練習はさぼりがちに。とうとう女子部員との対立が激化！友達、恋、さまざまな悩みを抱える中学生が少しずつ成長していきます。

世界を、こんなふうに見てごらん

日高敏隆/著 集英社 2010

動物行動学の第一人者である日高敏隆氏が、人間や動物が生きるということはどういうことか、人生を豊かなものするための見方や考え方のヒントをやさしい語り口で教えてください。これから大人になる若者に贈る科学エッセイ集です。



ルリユール

村山早紀/著 ポプラ社 2013

夏休みにおばあちゃんの住む街にやってきた^{るり}瑠璃は、「黒猫工房」の女主人クラウドアさんから、本を修復したり作ったりするルリユールの仕事を教わることになります。まるで魔法のように本を直すことができるクラウドアさんのところに来る依頼は、何だか訳ありのものばかり。ちょっぴり切なくて、心があたたかくなる物語です。

ガール！ガール！ガールズ！

宮下恵菜/著 ポプラ社 2009

学校でも部活でも、私は女子の法則を守ってうまくやってきた。いい子すぎず、悪すぎず、ダサすぎず、マジメすぎない。でも、「あいつ」のせいで、私の日常は、あっけなく崩壊した。女子中学生の日常をリアルに描いた青春ストーリーです。

本を味方につける本

永江朗/著 河出書房新社 2012

「どうして本を読まないといけないの？」「どんな本を読めばいいの？」「本のおもしろさがわからない」こんな疑問や悩みを持ったら読んでほしい1冊です。本の選び方、読み方、考え方など、本と上手に付き合っていくためのコツを伝授します。

イートン校の2羽のフクロウ

ジョナサン・フランクリン/著 清水玲奈/訳 エクスナレッジ

2017

親を亡くした生後間もない2羽の赤ちゃんフクロウを保護したジョナサン。彼らを「ディー」と「ダム」と名付け、進学先のロンドンのイートン校にある寄宿舎で育て始めます。いずれは野生に帰したいという目標のもと、悪戦苦闘の日々を過ごしたジョナサンは、大好きなフクロウと共に大きく成長していきます。

カリカリベーコンはどうして美味しいにおいの？



ANDY BRUNNING/〔著〕 高橋秀依・夏莉英昭/訳 化学同人 2016

経験則で知っていたり、噂話で聞いたりしたことがある食べ物・飲み物にまつわるトピックスを、有機化学で説明します。根拠のある話もあれば作り話もあります。面白そうな話から拾い読みするうちに、疑問解決！化学が身近に感じられてきます。

雲は湧き、光あふれて

須賀しのぶ/著 集英社 2015

高校球児たちのあこがれの舞台、甲子園。試合前に腰を故障したエーススラッガーと、彼のピンチランナーに急遽抜擢された補欠。別々の高校に進学しながらも、互いを意識し、切磋琢磨し合う幼なじみと、彼らを見守るスポーツ記者。甲子園の地を夢見ながらも、時代の渦にのまれ、戦地に赴く少年たち。過去と現在、野球を通じて心を通わせ合う少年たちの、ひと夏の物語が詰まった短編集です。



クマのあたりまえ

魚住直子/〔著〕 植田真/絵 ポプラ社 2011

死んだクマを目撃した子グマ。どうせ死ぬのに何故生まれてきたのか、死なないものに生まれたかったと考えた末に、石なら死なないはずと思いつきます。石に教えを請い我慢に我慢を重ねた結果ついに何も感じなくなり、本当に石になるかもしれないと思ったときに…。滋養のように心に染み入るファンタジー集。

響け！ユーフォニアム

武田綾乃/著 宝島社 2013

高校に入学した久美子は、友人の葉月や緑輝とともに吹奏楽部に入部しました。北宇治高校吹奏楽部は、以前は全国大会へ出場した経験もある強豪校でしたが、今ではその影もありません。そんな中、新たに顧問となった音楽教師、滝昇たきのぼるの下で全国大会出場を目標に掲げた部員たちですが、さまざまな出来事が久美子たちを待っていたのでした。コンクールに向け、部員それぞれの日々がはじまります。シリーズで楽しんでください。